

知っていますか？「ハインリッヒの法則」

皆さんは、生活している中で、「ヒヤッとしたり」「ハッとしたり」することがあったと思います。

今日は皆さんに「ハインリッヒの法則」というものを知らせたいと思います。

アメリカのハインリッヒという人が、あるとき保険会社から、なぜこんな事故が起きたのかを調べてほしいと依頼を受けます。彼はいろんな事故を調べていくうちに、ある法則があるのを発見しました。

それが、1対29対300という法則です。

これは何かというと1つの取り返しのつかない大事故が起こる前には、必ず29の小さな事故が起こっている。その29の事故が起こる前には必ず「ハットする」失敗が300ほどあるという法則です。

つまり、大きな事故は、突然やってくるのではなく、その前触れが必ずあるということです。

皆さんが生活する中で、これから「ハットする」ことがあったとしたら、その時に二度と「ハットしないよう」にもう一度振り返って反省し、改善しておくことが大きな失敗につながらないことになります。

かつて、取り返しのつかない大事故を起こした人が、その事故を起こすまでに「ハットする」ことが何度もあったが、「これくらいは大丈夫だ」と思っているうちにこんなことになってしまったと言っています。

皆さんも、「今まで何もなかった」のだから、「同じことをやっても」大丈夫だと思っていま

せんか。
これからの生活の中で「ハットする」ことがあったら、それは大失敗の前兆だと考え、その時に、自分自身の行いや考えを改善してください。

皆さんは、29回目を迎えていませんか。

1対29対300という法則。ぜひ知っておいてください。

(校長 太田忠男)

